

地域にふれあう学校づくり

大野市開成中学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校との連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	1回
地域及び家庭への学校公開	11回

(2) 地域人材の活用 (のべ人数)

講師・ゲストティーチャー
30人

(3) 特色ある活動

テーマ 「心の教育の充実」

具体的活動内容「地域と連携したボランティア活動」

本校では以前よりボランティア活動に力を入れており、一人一ボランティアとして老人ホームや保育園の施設訪問、祭り後の清掃活動など生徒会の善意銀行委員会が中心となって自主的に行っている。昨年度からは大野のシンボルである亀山に桜の苗木を植える活動を、地域の桜守の会の指導を得ながら行っている。

今年度は6月4日に苗木の周りの草刈りを、11月20日には苗木の植樹を行い、のべ50人の生徒が参加した。また本校のPTAとも連携し、保護者が20人ほど参加した。作業は急斜面の箇所が多く日差しも強くて手間取ることもあったが、時間内に終わることができた。この取組は「湧く湧く水サミット」においてポスターで紹介され、地下水保全の一活動としての評価を受けた。



参加した生徒たちは身をもって桜を育てることの難しさや苦勞を感じたとともに、「亀山の桜から大野に元気と夢を(桜の守会テーマ)」与える活動に貢献できた喜びを感じてくれたと思っている。

成果と課題

参加した生徒たちは普段見過ごしがちな自然に触れる良い機会となったようで、多くの生徒が「来年も参加したい」と感想を述べていた。来年度も継続してこの活動を行う予定であるが、より多くの生徒が参加しふるさとの環境について関心が高まるよう、生徒が自主的に企画して実践する手立てを講じていきたい。また、PTAの環境整備委員会の活動と連携するとともに、地域・学校協議会からもこのような活動に対する地域の支援や協力を広く呼びかけていきたい。

